

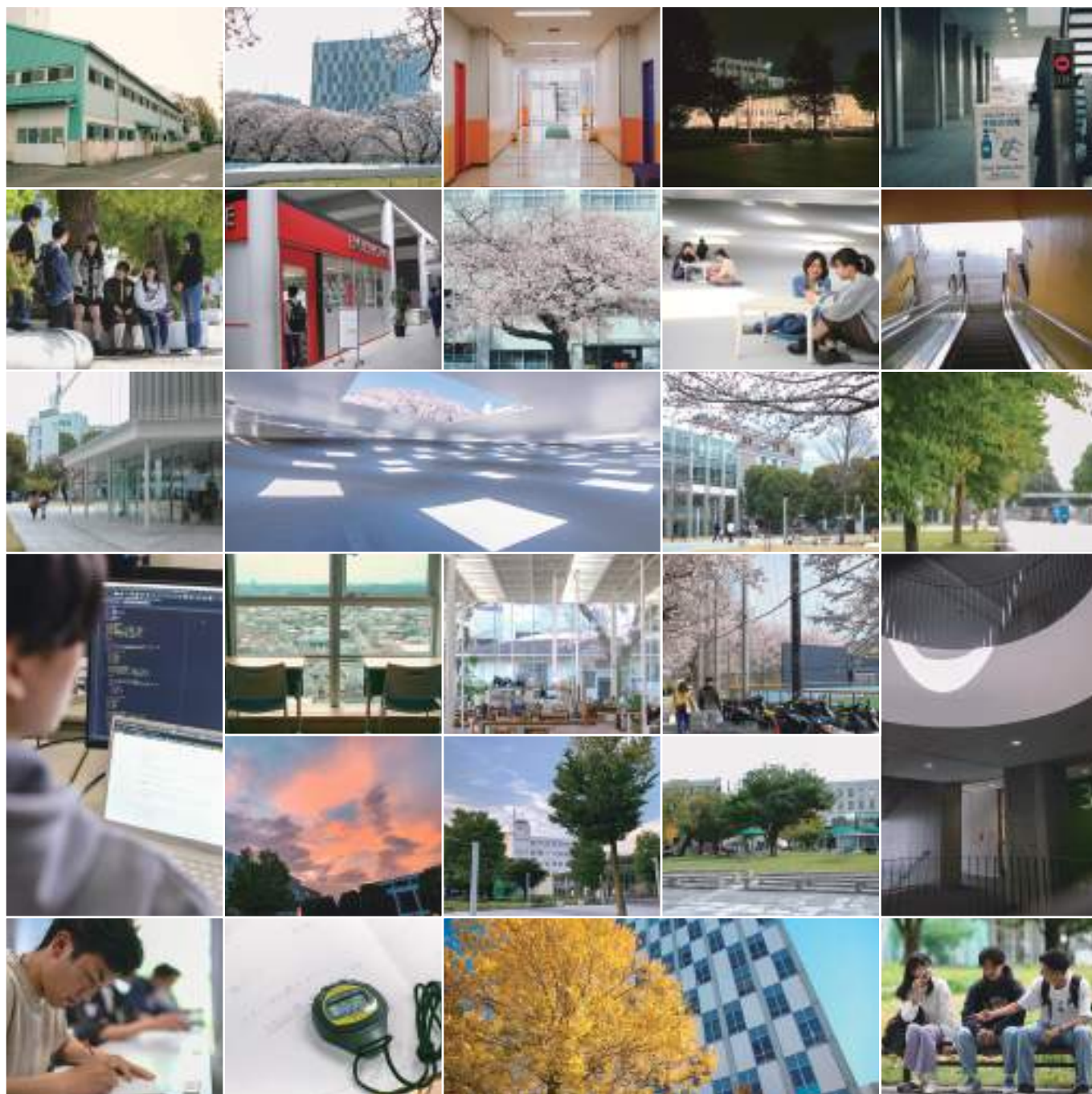
## 2022年度 神奈川工科大学 学位記授与式・卒業式にあたって

### 2022年度 卒業生の各種表彰 卒業生へのメッセージ

大学院工学研究科

工学部・創造工学部・応用バイオ科学部・情報学部・健康医療科学部  
研究室

Office information



## クラブ活動紹介

# サッカー部

■活動の最新情報はサッカー部のTwitterをご覧ください。  
神奈川工科大学サッカー部 Twitterアカウント



サッカー部は1978年に神奈川県大学サッカー2部リーグに加盟し、2008年に30年ぶりの2部リーグ優勝(1部昇格)後、2011年に強化指定部に認定。1部のレベルの高さに苦しまますが、選手、マネージャーの努力と大学の支援(2012年にグラウンドの人工芝整備)、そして、卒業生の支えもあり、2019年に準優勝、2021年に優勝し、2度の関東大学サッカー大会(関東大学サッカー2部リーグ昇格大会)に出場するなど、神奈川県でも上位に位置するチームになりました。

2023年からは東京都リーグとの合併が決定し、関東大学サッカーリーグ東京・神奈川2部からのスタートとなりますが、これまで同様、結果だけでなく、本学の教育目的である「考え、行動する人材の育成」を追求し、社会人として様々な場で活躍できる人材の育成と多くの方から応援をされるチームを目指します。

(文責:サッカー部 監督 齋藤 雄二郎)



## クラブ活動紹介

# 硬式野球部

■活動の最新情報は硬式野球部のホームページをご覧ください。



2022年度は、春季リーグ戦3位、秋季リーグ戦5位という順位で終わり、大変悔しい思いをしました。それでもリーグ戦初優勝を勝ち得るため「革命」をチームスローガンに全身全霊で戦い抜きました。

特に開幕から5連敗を喫した春季リーグ戦では、4年生を中心にチームを立て直し、その後の全試合を勝利(6連勝)に飾った実績は、創部45年となる野球部において目覚ましい活躍ぶりを見せてくれました。

2022年度卒業生(野球部)の中には、以下社会人野球チーム(硬式)に所属して、プレーヤーを継続する者もあります。

新社会人となる全ての卒業生の活躍を今後も期待しています。

|                      |     |       |                   |
|----------------------|-----|-------|-------------------|
| TOSHIBA (神奈川県川崎市)    | 投手  | 工藤 佑太 | 機械工学科卒業           |
| ツネイシブルーパイレーツ(広島県福山市) | 捕手  | 草薙 海杜 | 情報メディア学科卒業        |
| オールフロンティア(埼玉県春日部市)   | 内野手 | 原田 耀大 | 機械工学科卒業           |
|                      | 投手  | 平川 巧  | ホームエレクトロニクス開発学科卒業 |

(文責:野球部 監督 新田 晃司)





# 2022年度 神奈川工科大学 学位記授与式・卒業式挙行



## 社会へ巣立つ皆さんへ

学長  
小宮 一三

このたび学位記を授与された大学院修了生、学部卒業生の皆さんに心より祝意を表します。学位記は皆さんが今日まで学業に励み、目標を達成した努力の結晶です。是非大事にしていきたいと思います。そして、何よりも温かいご支援いただきましたご父母、ご家族の皆様にお礼とお祝いを申し上げます。

コロナ禍も既に丸3年経過し、このほど政府より季節性インフルエンザと同じ「5類」への移行の方針が示されるなど、ほぼ平時に近い行動が可能となりました。これを受け、本年度の学位記・授与式は全修了生、卒業生が一堂に会する式典とすることができました。是非、教員や友との思い出づくりの一日としていただければ幸いです。

コロナ禍は大きな試練ですが、私たちは力を合わせてこれを乗り越え、ポストコロナ、ニューノーマルの時代を築きあげねばなりません。近年人工知能（AI）、メタバース、人型ロボット、自動運転車、高度医療技術など先端科学技術が急速に進展し、超スマート社会（ソサイエティ 5.0）が実現しつつあります。さらにICT（AI）を産業や社会で高度に活用するDX（デジタルトランスフォーメーション）の流れも加速しています。一方、人口減・少子化対策、地球環境・エネルギー問題、SDGsに代表される持続型社会の実現も大きな課題となっています。

このような大きな変化の時代こそ若い皆さんの出番です。皆さんには本学で学び培った「技術に強く、人に優しい」KAITスピリッツを大いに発揮し、それぞれの分野のリーダーとして活躍してもらいたいと思います。詩人で書家の相田みつを先生は、「一生勉強 一生青春」という言葉を残しています。学びを継続することで、知識が増え、新しい発見があり、そこに感動が生まれ、成長につながっていくという意味を表しています。人生100歳時代を迎えつつある今日、これから長い人生を歩む皆さんに貴重な指針を与える言葉と思います。

幾徳学園・神奈川工科大学は、今年創立60周年を迎えます。これを契機に学生本位の大学として教育研究に一層力を入れ、未来に向け成長を続けていきます。是非、ホームカミングデイや幾徳祭などを利用し、気軽に大学へ遊びに来てください。そして後輩たちに社会のこと、仕事のことを話していただけると幸いです。私達教職員はいつまでも皆さんとつくる輪を大切にしたいと思っています。

結びに、皆さんのご健康とこれからの益々のご活躍をお祈りし、祝辞といたします。

# 2022年度 各種表彰

## 『成績優秀表彰』表彰者

|          |                         |         |
|----------|-------------------------|---------|
| 工学部      | 機械工学科……………              | 河 西 勇 哉 |
|          | 電気電子情報工学科……………          | 下 田 東 也 |
|          | 応用化学科……………              | 與五澤 友 恵 |
| 情報学部     | 情報工学科……………              | 新 原 慎 司 |
|          | 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 …… | 市 村 治 紀 |
|          | 情報メディア学科 ……             | 小 野 優 希 |
| 創造工学部    | 自動車システム開発工学科 ……         | 谷 口 祐 一 |
|          | ロボット・メカトロニクス学科 ……       | 平 林 龍 斗 |
|          | ホームエレクトロニクス開発学科……………    | 山 田 月 都 |
| 応用バイオ科学部 | 応用バイオ科学科 ……             | 杉 本 洵   |
| 健康医療科学部  | 看護学科……………               | 谷 龍 介   |
|          | 管理栄養学科……………             | 新 井 一 豊 |
|          | 臨床工学科……………              | 下 澤 俊 紀 |

## 『松川サク工業賞』表彰者

|       |                      |         |
|-------|----------------------|---------|
| 創造工学部 | ロボット・メカトロニクス学科 ……    | 松 田 輝   |
| 創造工学部 | ホームエレクトロニクス開発学科…………… | 中 山 鴻 志 |

## 『情報工学専攻 専攻主任賞』表彰者

|             |         |
|-------------|---------|
| 情報工学専攻…………… | 高 澤 祐 樹 |
|-------------|---------|

※情報工学専攻では、学業の努力が顕著な学生に対し専攻主任賞を授与しています。



本学では、学業や課外活動等において優秀な成績を修めた学生を毎年、卒業式に表彰する独自の表彰制度を設けています。2022年度は以下の学生が表彰されました。

## [課外活動部門]

### 課外活動賞

#### (団体表彰)＜最優秀課外活動賞＞

##### [声劇サークル]

代表者 金 綱 峰 司 (電気電子情報工学科)

##### [KAIT eSports]

代表者 園 田 悠 真 (電気電子情報工学科)

## [ハイアクティビティ部門]

### ハイアクティビティ賞

#### (個人表彰)＜最優秀ハイアクティビティ賞＞

矢 田 悠 人 (機械システム工学専攻 博士前期課程)

和 田 拓 海 (情報工学科)

#### (個人表彰)

河 上 真 緒 (情報ネットワーク・コミュニケーション学科)

齊 藤 仁 (情報工学科)

中 山 鴻 志 (ホームエレクトロニクス開発学科)

松 永 大 輝 (ホームエレクトロニクス開発学科)

田 邊 泰 盛 (情報ネットワーク・コミュニケーション学科)

橋 場 元 紀 (ホームエレクトロニクス開発学科)

金 綱 峰 司 (電気電子情報工学科)

赤 羽 秀 (情報工学専攻)

#### (団体表彰)

##### [KAIT Racer GP実行委員会]

谷 口 祐 一 (自動車システム開発工学科)

清 田 拓 実 (自動車システム開発工学科)

田 中 歩 武 (自動車システム開発工学科)

##### [チームネットワークラボ2022]

代表者 伊 藤 悠 真 (情報工学専攻 博士前期課程)

##### [スノーフェスタ2023]

代表者 加 藤 陽 真 (情報ネットワーク・コミュニケーション学科)

##### [ホームエレクトロニクス開発学科 有志]

高 野 希 望 (ホームエレクトロニクス開発学科)

野 村 大 輝 (ホームエレクトロニクス開発学科)

##### [Meta Avatar robot cafe]

山 田 月 都 (ホームエレクトロニクス開発学科)

野 村 大 輝 (ホームエレクトロニクス開発学科)

細 田 亘 晃 (ホームエレクトロニクス開発学科)

※団体で、人数が多い場合は代表者のみの記載とさせていただいておりますので、ご了承ください。

## 卒業生へのメッセージ

## 贈る言葉

機械工学科 学科長 教授 有川 敬輔



機械工学科を卒業される皆さん、機械工学専攻を修了される皆さん、おめでとうございます。ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

機械工学科、機械工学専攻での学びはいかがでしたか。

もともと、「機械」という言葉から連想される内容と機械工学で学ぶ内容は異なると思いますが、特に皆さんの場合、この3年間にコロナ禍がもたらした状況は全く予想外であったことと思います。オンライン授業、登校日の制限、制限された中での研究活動など、これまで考えられなかった状況が起りましたが、皆さんは見事にこの環境に適応しました。未来を予測することが困難なこの時代、必要とされる重要な力の一つは、まさに、コロナ禍で皆さんが示した変化に適応する力です。

未来を予測しにくい社会では、仕事でも生活でも思い通りにいかないことの方

が多いと思います。努力したからといって思うような結果が出るとはかぎりません。「結果が全て」という言葉を耳にすることがあると思います。もし、本当に「結果が全て」ならば、このような時代の最も効率的な生き方は「何もしない」ことになるかもしれません。これは楽なようで大変辛い生き方です。

努力していけば、新しい知識や技術が身につくでしょう、新しい人との出会いもあるでしょう、得た知識や技術を教えてほしいと人から必要とされることもあるでしょう。思い通りの結果が得られれば幸運ですが、そうでなくても、その過程で払った努力には十分に価値があります。この時代に必要とされるもう一つの重要な力は、努力すること自体に楽しみを見つける力ではないかと思います。どのような形であれ人との関りがあって、はじめて身につく力です。

皆さんの幸せをお祈りしています。



有川研究室(ロボット機構学研究室)



川島研究室(振動システム実験研究室)



木村研究室(空気力学研究室)



小机研究室(構造動力学研究室)



佐藤研究室(教育機械工学研究室)



照井研究室(宇宙機制御工学研究室)





**渡部研究室** (材料構造力学研究室)



**今井研究室** (精密加工研究室)



**中根研究室** (流体物理学研究室)



**萩野研究室** (熱流体工学研究室)



**林研究室** (燃焼工学研究室)



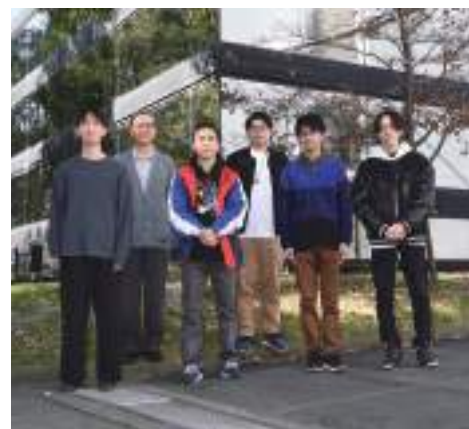
**根本研究室** (流体工学研究室)



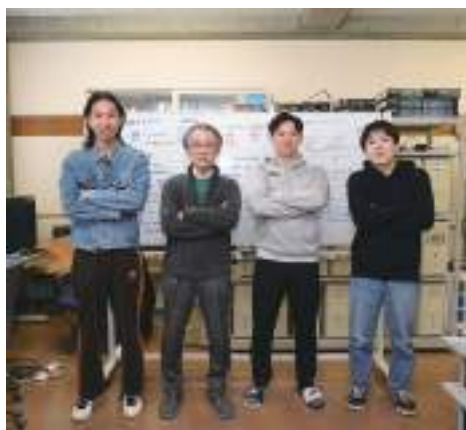
**水野研究室** (生産工学研究室)



**吉岡研究室** (動の設計研究室)



**石綿研究室** (流体科学研究室)



**山本研究室** (計算物理学・力学シミュレーション研究室)



**栗田研究室** (基礎物理学・宇宙物理学研究室)



卒業生へのメッセージ

## 卒業・修了おめでとう

電気電子情報工学科 学科長 教授 武尾 英哉



卒業生の皆さん、大学院修了生の皆さん、そしてご家族の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

私から皆さんへ、お伝えしたい言葉があります。それは、「光陰は矢よりも速やかなり身命は露よりも脆し(もろし)」という釈迦様の言葉です。難しい言葉ですが、これを説くと「時の過ぎゆくのは矢よりも速く(光陰矢の如く)、人の命は朝露よりもはかないものだ。」という教えではないかと思えます。「過去は取り戻すことはできず、未来のことをあれこれ心配しすぎることも時を生かすことには繋がらない。必要なことは、今、この命を尊び、感覚的なことに振り回されず、周囲への施しの気持ちを持ち、笑顔や心のある言葉を使い、家族やまわりの人のために働き、人の喜びや悲しみを我がこととして捉え、共に歩いていく。」もしこのよう日々を過ご

すことができたなら、自分自身のこれまでの人生が全て価値あるものとなるだけでなく、これからの人生も素晴らしいものになっていくのではないのでしょうか。

私自身、現在そんな心構えで過ごしているかはわかりませんが、皆さんはこの機をチャンスとして、是非この言葉のようなおおらかな気持ちを持っていたければ良いと思います。自分を否定せず、周りや上司の言葉を真剣に聞きリスペクトし、前向きに行動することが大きくプラスになるのではないのでしょうか。社会へ出ると学生時代とは違って遙かに多くの出来事やチャンスが待ってます。そんな時に、この言葉を思い出して、チャレンジしてみてください。きっとできるから!

これからの皆さんの活躍を心より祈ってます。

では、社会人人生への良い旅を。



板子研究室 (パワーエレクトロニクス研究室)



工藤研究室 (電子デバイス研究室)



小室研究室 (先端電子計測研究室)



瑞慶覧研究室 (電気応用研究室)





武尾研究室 (AI・画像工学研究室)



中津原研究室 (光機能デバイス研究室)



檜原研究室 (非線形波動工学研究室)



高取研究室 (モビリティITC研究室)



高橋研究室 (視環境研究室)



神谷研究室 (生体分子シミュレーション研究室)





## 卒業生へのメッセージ

卒業おめでとう。  
これからがスタートです。

応用化学科 学科長 教授 森川 浩

ご卒業おめでとうございます。本学で過ごした日々を振り返ると、入学した時の希望は実現したでしょうか。卒業を迎えた今、満足や不満、安堵や後悔、次のステップへの不安や希望などの様々な思いが寄せているはずです。第一に、ご家族を含めて多くの人に支えられ、これまでの学生生活を過ごせたことを振り返り、感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

多くの人は4月より実社会へと進むことになります。そのような意味で、大学の「卒業」は、ゴールでなく新たなスタートです。今まさに実社会に踏み出そうとしている皆さんに、伝えたいことがあります。

学業とは異なり、実社会では決まった正解がない場合が多々あります。また、実社会では出題範囲は限定されません。同時に多くの問題に正解が求められることも常で、しかも複数の正解のある問題もあれば、正解のない問題もあります。時には、曖昧な答えである場合もあります。時には、何が問題なのかを見つける必要性もあります。このことを実体験し、自分なりの解を見つけていってください。

皆さんがこれから踏み出す社会には、閉塞感やグローバル化などの様々な現実が突きつけられ、予測困難な時代を迎えています。突然、コ

ロナ禍で様々な知恵が試されたのも、その最たる例だと思います。刻々と変わりうる状況に対し、何が正解かを皆が模索していたはずです。

そのような時代と社会のと真ん中で、皆さんたちは過ごしていくことになります。現在、常識と言われている物事が、時代とともに常識でなくなる場合もあるでしょう。このような世の中の「変化」に対応していく必要があります。皆さんは、本学科で、多くのデザイン教育・課題解決型授業を学んできました。卒業研究もその1つでしょう。これらを通じて、「自分の頭で考え、行動する」、そのための知的な基礎体力と対応力を身に着けたはずです。これから多くの困難に直面すると思いますが、自分で考え、自ら模索し、自分なりの対応や答えを見つけていってください。

社会が変わっていく中でも、最後は「人と人とのつながり」が大事になってきます。家族や友人、組織の内外などの多くの他者と関わって、大きく刺激を受け、考えを深め、気づき、喜び、時には悲しんで、人間的に大きく成長していってください。

この厚木の地を旅立っていく皆さんが、有意義で幸せな人生を歩んでいかれることを応用化学科教職員一同、心より願っています。



齋藤研究室(環境化学・環境生物研究室)

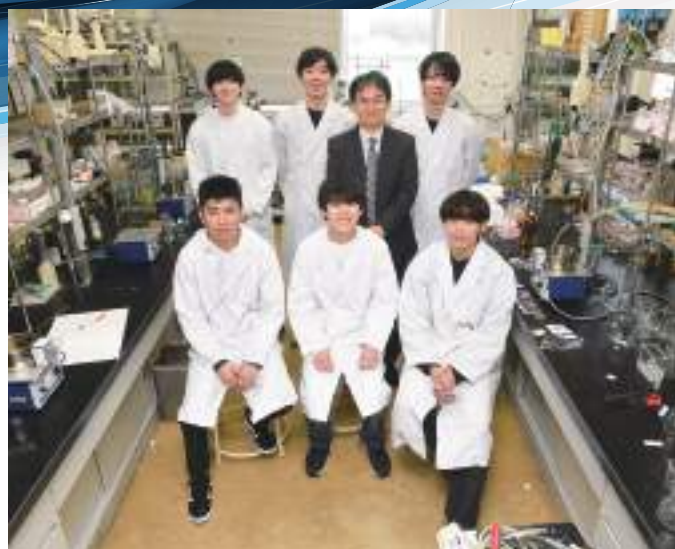


三枝研究室(高分子化学研究室)

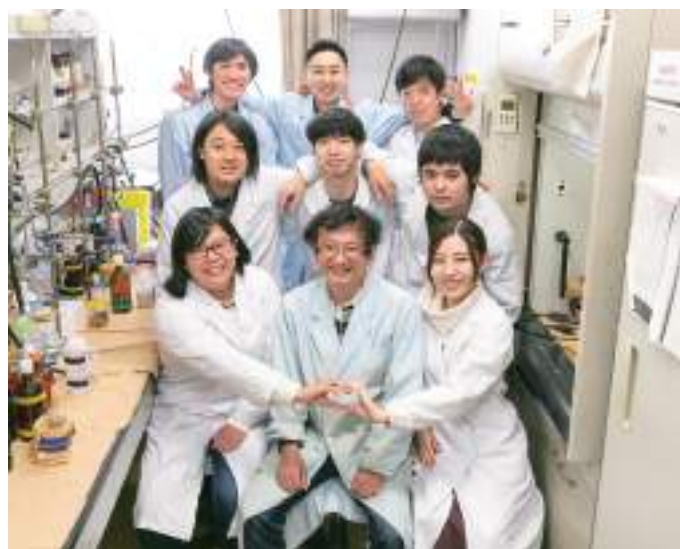




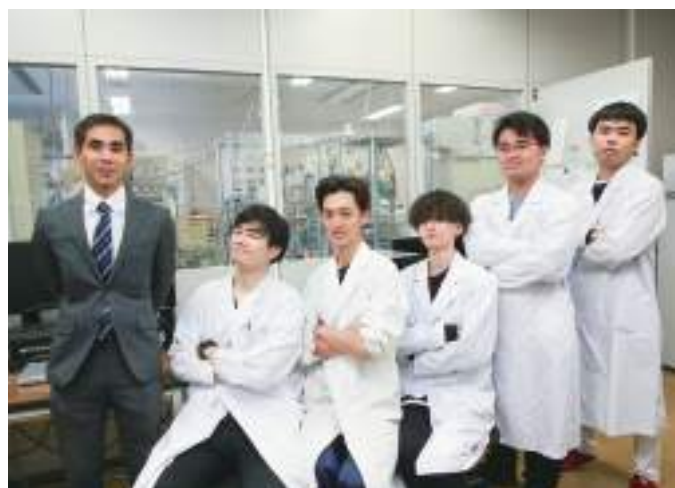
高村研究室 (環境と生体影響研究室)



森川研究室 (有機材料研究室)



山口研究室 (有機合成化学研究室)



大庭研究室 (資源エネルギーシステム研究室)



卒業生へのメッセージ

## 「本質を見極める力」



自動車システム開発工学科 学科長 教授 山門 誠

卒業生・修了生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。また、これまで支援してこられたご家族・ご親族の皆様も大変お喜びのことと存じます。2020年からの新型コロナウイルスが猛威を振るう中、人とのつながりや、家族や親しい友人に直接会えることの大切さを、誰もが痛感したと思います。と同時に、ピンチをチャンスとして捉え、目標に向かって新たな道を開拓する力を、この学生生活で学んだのではないのでしょうか。新しい理想像「コロナ禍のあるべき姿」を見出しながら、皆さんが、研究テーマ立案・製作実験・論文作成・発表と進めていく過程で大きく成長したのを、大変嬉しく頼もしく思いました。今皆さんが感じている達成感は貴重な財産です。ぜひ今後の糧としてください。

これからの多様性に満ちた時代に未来を切り拓くのは、若い皆さんの瑞々しい感性に基づいた斬新な発想と、それを実現する行動力です。岐路に立たされた時も、どうか失敗を恐れずに

挑戦してってください。そして道に迷ったら、物事の本質について真剣に考えてみてください。儲かる、楽できるのではなく、本質を見極めてください。その力が皆さんにはきっとあるはずです。転んでも決してあきらめず、必ず何かをつかんで立ち上がってください。その経験により、みなさんの人生は深みを増し、彩り豊かなものになると私は信じています。みなさんが自分自身としっかり向き合い、信じた道を自信を持って歩んでいくことを願っています。歩き疲れたら、本学を訪ね近況を報告いただくとともに、この四年間/六年間の自ら成長した時代を思い出し、また歩き始めてください。

最後に、卒業生・修了生のみなさんの今後のご活躍と、ご家族の皆さまのご健康を心からお祈りし、贈る言葉とさせていただきます。



クライソン研究室(電動システム研究室)



山門・狩野研究室(車両運動・制御研究室)





脇田・小宮研究室 (知能モビリティ研究室)



岡崎・加藤研究室 (モータースポーツ工学研究室)



藤澤・川口研究室 (ソーラービークル工学研究室)



石綿研究室 (流体科学研究室)





卒業生へのメッセージ

## ご卒業おめでとうございます

ロボット・メカトロニクス学科 学科長 教授 河原崎 徳之



ロボット・メカトロニクス学科を卒業する皆さん、ロボット・メカトロニクスシステム専攻を修了される皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまで皆さんを支えてこられたご家族、ご親族の皆様にも心より喜び申し上げます。

皆さんは、これまでの大学、大学院生活を通じて、多くのことを学んできたことと思います。特に、卒業研究や修士研究では、最初は何もわからない状態から始めて、試行錯誤を繰り返して研究をまとめるまで、苦しいことも多かったことと思います。皆さんがこれから社会で仕事をしていく上では、解決方法が与えられていない問題を期限内に解決して、他者に正確に報告するといった、卒業研究、修士研究で行ってきたことの繰り返しになります。

これまで多くの困難を乗り越えて卒業、修了という目標を達成したので、大いに自信を持って社会へ飛び出してください。society5.0と呼ばれるこれからの未来社会は、IoT、AI、ロボットなどにより、社会のあり方が大きく変化すると予想

されます。皆さんがこれまで学んできた知識、身に付けた技術を大いに発揮できることと思います。

これからの世の中は移り変わりが激しく、何が起ころるか分からない不確かな時代でもあります。一番大切なのは、氾濫する情報に惑わされず、何が正しいのか情報を取捨選択して論理的に考え、自ら解決方法を探ることです。常に他者を思いやる気持ちを持って、皆さんの力でよりよい時代を築かれることを期待しております。また、コロナ禍にあって、喜びや苦しさを共有した仲間と出会ったことは皆さんの宝ですから、大学時代の友人達とのつながりを社会に出てからも大切にしてください。尚、卒業後も時々近況をお知らせいただき、我々にも刺激を与えてください。

教職員一同、皆さんが健康でご活躍されることを願っております。



河原崎研究室 (ロボット・インタフェース研究室)



高尾研究室 (人間工学研究室)



高橋 勝美研究室 (運動機能評価研究室)



高橋 良彦研究室 (人間支援システム研究室)





兵頭研究室 (知能機械研究室)



森研究室 (プロダクトデザイン研究室)



吉野研究室 (ロボット・ビジョン研究室)



吉満研究室 (フルードパワー・災害救助ロボット研究室)



三枝研究室 (人間機械共生研究室)



吉留研究室 (ユニバーサルロボット研究室)





卒業生へのメッセージ

## 変化の時代に順応し チャレンジを続けよう



ホームエレクトロニクス開発学科 学科長 教授 黄 啓新

皆さん ご卒業おめでとうございます。

三年前から流行した新型コロナウイルスの影響で、皆さんの大学生活は一変しました。キャンパスでの授業や部活・サークル活動は今まで通りできなくなり、アルバイトや友たちとの交流等が余儀なく制限されてしまいました。こういった不測の事態でも、私たち教員と皆さんで、オンライン方式やオンデマンド方式など新しい学習の形態を作り上げました。そして、皆さんが授業、プロジェクトや卒業研究などに精力的に励んで、今日晴れて大学卒業という日を迎えることができました。

皆さんが在籍した4年間で、私たちを取り巻く社会や地球環境は大きく変わりました。AIやIoTなど先端技術により便利な生活ができて一方、戦争や環境変化による資源の枯渇や物

価高上昇などの様々な課題に直面しています。こうした変化が激しい時代の中で生きている皆さんだからこそ、社会人の一員として、この時代に早く適応し、主体的に新しいことにチャレンジする必要があります。そうすることで、見識が広がるとともに、よりよい時代を作り上げることができると思います。そして、今まで大学で培った力を活かし、「良く調べ、深く考え、素早く行動すること」を胸にこれからも絶えず努力してください。ここは永遠に皆さんの「ホーム」で、いつまでも皆さんをサポートし応援します。

今日という節目を大切に、是非今まで経済的、精神的に支えてくれたご家族に感謝の意を表し、明日以降、大きな一歩を踏み出してください。皆様のご活躍を心より期待します。



安部研究室(ユビキタスコンピューティングシステム研究室)



奥村研究室(人間中心家電研究室)





**金井研究室** (知能家電研究室)



**黄研究室** (センサと家電研究室)



**広井研究室** (システムエネルギー学研究室)



**三栖研究室** (照明工学研究室)



**杉村研究室** (IoTプログラミング研究室)



**山崎研究室** (コミュニケーションロボティクス研究室)



卒業生へのメッセージ

## チャレンジ精神で 常に前に進む努力を

応用バイオ科学科 学科長 教授 飯田 泰広



巣立ってゆく「バイオフィマリー」の皆さん、ご卒業おめでとうございます。応用バイオ科学部応用バイオ科学科に入学し、幾多のハードルを乗り越え、大学生活のゴールを迎えました。2年次からコロナ禍となり、慣れないオンラインの授業を受講し、制限された環境で実験実習に取り組まざるを得ませんでした。4年生になり、ようやく毎日実験に取り組めるようになり、今、晴れて卒業される皆さんを祝福すると共に、長年にわたって学生諸君を支えてこられた保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

バイオ科では、「基礎学力」や「応用力」はもちろん、「全人教育」を念頭にカリキュラムを組んでおり、皆さんは、「課題実験」、「バイオコンテスト」、「ムービーコンテスト」など多様な形式で苦しみながらも総合力を身に付けてきました。自分たちが主となりグループで取り組んだ経験は、研究室生活での経験と合わせて将来

皆さんを助けてくれることでしょう。

これから、皆さんは巣立ち、それぞれの道を歩み始めます。卒業研究では、「限られた環境の中で、適応し、努力すること」が評価の対象でしたが、「成果を出すこと」が期待されることになります。結果を求められ、息詰まることがあるかもしれませんが、皆さんの「努力すること」を見ている人、評価してくれる人が必ずいます。誰かがやってもいいことは自分がやる、誰かがやることも自分がやる、と率先して行動していったと思っています。気が付けば、多くの人が応援してくれているはずです。現代の予測困難な時代において、変化に適応し続ける能力は最も大切なことだと思います。バイオ科で培ったチャレンジ精神で変化を恐れず、常に前に進む努力を続け、社会で活躍していきましょう。



飯田研究室 (生物制御科学研究室)



市村研究室 (膜分離工学研究室)



岩本研究室 (植物細胞工学研究室)



栗原研究室 (免疫化学研究室)



小池研究室 (分子機能科学研究室)



清水研究室 (食品高分子化学研究室)





**野田研究室**(天然有機化学研究室)



**村田研究室**(時空間細胞生物学研究室)



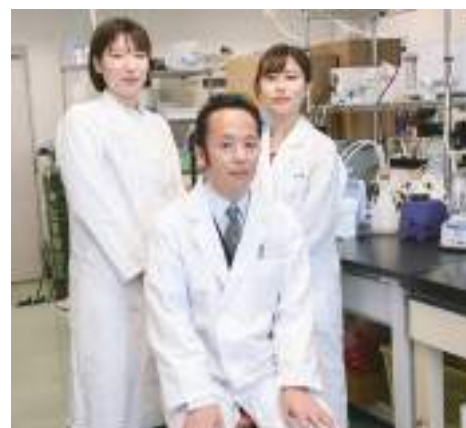
**井上研究室**(老化・疾患生物学研究室)



**小澤研究室**(水産化学研究室)



**仲亀研究室**(微生物工学分研究室)



**山下研究室**(神経生物学研究室)



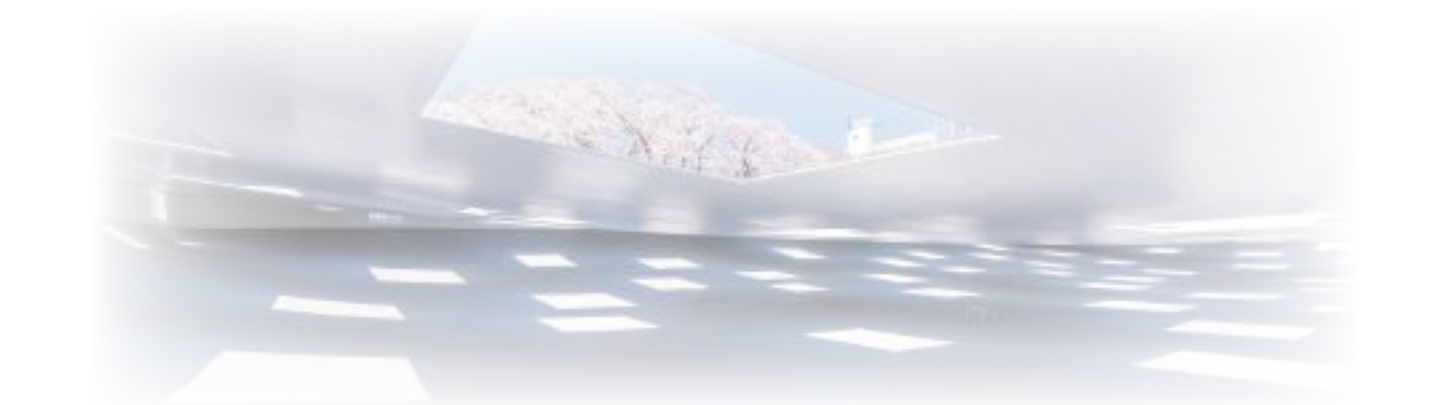
**山村研究室**(酵素工学分研究室)



**和田研究室**(環境高分子化学研究室)



**山本研究室**(細胞力学研究室)





卒業生へのメッセージ

# 誰もが学ぶ時代に 専門家として歩む



情報工学科 学科長 教授 納富 一宏

卒業おめでとうございます。

ポストコロナへ向かって歩みながら、皆さんのこれまでの奮励努力が実を結び、晴れて情報工学科／情報工学専攻を卒業／修了される、栄えあるこの日を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。皆さんの更なる飛躍と今後の活躍を心よりお祈りいたします。

小中学校に次いで高校でも情報教育の必修化が始まり、いよいよ誰もが情報技術を学ぶ時代になりました。皆さんが特別に学んできたICT（情報通信技術）、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、XaaS（X as a Service＝クラウドサービス）などは、生活するための常識であり、道具であり、誰もがこれらを活用し、誰もがこれらと共に生きる時代が到来したのだと言えます。

皆さんは情報工学を学んだ専門家です。いよいよ活躍できる時が来たのです。専門家ではない周りにいる人たちをリードし、後から来る人たちを育むために社会に貢献できるのです。

皆さんがこの4年間、あるいは6年間、大学そして情報工学科で学んできたことが、これからの時代を支え、やがては世界をより良く変えていくことを意識しましょう。この門出に際し、デジタル変革の時代を築く重要な役割を担う一員として、活躍する強い意志をもって着実に歩んでください。

私たち情報工学科の教職員一同は、皆さんが神奈川工科大学を巣立ってから、健やかに研鑽を積まれることを願っています。そして皆さんの成長した姿に再会できる日を心待ちにしています。



五百蔵研究室(言語設計学研究室)



稲葉研究室(経営システム工学研究室)



大塚研究室(Web工学研究室)



木村研究室(信号処理応用研究室)



清原研究室(モバイルコンピューティング研究室)



塩野研究室(社会システム工学研究室)





**鷹野研究室**(データベースシステム研究室)



**田中 哲雄研究室**(ソフトウェア工学研究室)



**田中 博研究室**(情報通信研究室)



**陳研究室**(知能処理システム研究室)



**辻研究室**(数理画像情報学研究室)



**納富研究室**(対話型システム研究室)



**松本・鈴木研究室**(知能情報処理研究室)



**宮崎研究室**(画像情報処理システム研究室)



**森研究室**(メディア認識理解研究室)



**谷代研究室**(スポーツ情報科学研究室)



**川喜田研究室**(IoTシステム研究室)



**須藤研究室**(知能システム工学研究室)



**先端情報工学調査プロジェクト**





## 卒業生へのメッセージ

## 「学びを活かして時代を切り拓く人に」

情報ネットワーク・コミュニケーション学科 学科長 教授 臼杵 潤



ご卒業おめでとうございます。

大学を卒業するまで22年以上、多くのことを学んできました。この間、目の前で生じている現象に対して、学んできた事柄を活かしながら観察し、様々な状況を同時に認識しながら全体を把握する力も身に付けてきました。そして、何か問題が生じれば情報を整理しながらその解決に挑み、ときに理解を超える現象に遭遇すれば新たな学びを通じてその解釈を試みてきたことと思います。このような経験を繰り返すうちに、学んだ事柄を応用する力が磨かれてきました。次第に物事の本質に迫れるようになってきたことと思います。

さて、本学科、N科ではネットワーク、セキュリティ、アプリケーションの3つのアプローチでネットワーク技術の基礎から応用までを学び、ときに難易度の高い問題に挑みながら、「N」の本質に迫ってきました。そして様々なネットワーク技術が先

駆者たちの努力と挑戦によって築かれたこと、これらによって高度に発達し続ける情報化社会が支えられていることを実感することも多かったと思います。

大学卒業後は、仕事で実践力を鍛える人、学びを続けてさらに専門性を磨く人などさまざまな人がいて、皆さんがそれぞれに世の中を支える人になります。ときには、誰も答えを見つけたことのない問題に直面することもあるでしょう。また、様々な知識を使って何段階も謎解きをしなければクリアできない高難易度の問題に遭遇することもあるかもしれません。そのときはこれまでの学びを思い出し、さらなる学びを通じて、先駆者たちを見倣いながら課題を乗り越え、新しい情報化社会を築き、新しい時代を切り拓いて下さい。

末筆ながら、皆様のご多幸とご活躍をお祈りいたします。



井上研究室 (立体映像メディア研究室)



上平研究室 (画像応用研究室)



臼杵研究室 (応用情報システム(自律、モノの流れ、音楽)研究室)



岡崎研究室 (ネットワークセキュリティ研究室)



岡本 剛研究室 (コンピュータウイルス対策研究室)



岡本 学研究室 (セキュア・バリアフリー研究室)





**塩川研究室**(モバイルネットワーク研究室)



**鳥井研究室**(無線通信理論研究室)



**丸山研究室**(ネットワークコンピューティング研究室)



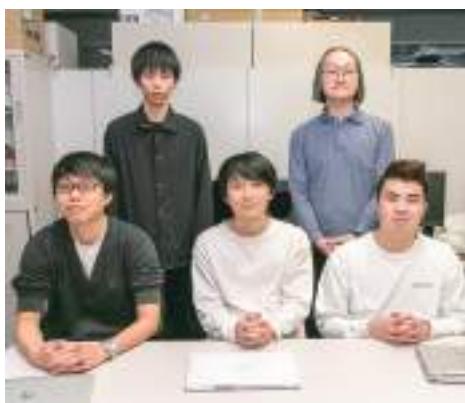
**井家研究室**(情報システム評価研究室)



**岩田研究室**(コミュニケーションソフトウェア研究室)



**凌研究室**(情報サービスシステム研究室)



**須賀研究室**(マルチメディア情報処理研究室)



**海野研究室**(ソフトウェア科学研究室)



**谷代研究室**(スポーツ情報科学研究室)





## 卒業生へのメッセージ

## ご卒業おめでとう！



情報メディア学科 学科長 教授 西口 磯春

ご卒業おめでとうございます。さまざまな障壁を乗り越え、無事、卒業式を迎えられたこと、心よりお祝い致します。

みなさんの多くが新入生だった2019年から2020年にかけての冬に流行が始まり、2020年の4月7日には神奈川県を含む7都府県を対象に緊急事態宣言が出されました。本学においても、4月は一切授業が実施できず、5月11日ようやく授業が再開されました。しかし、学生諸君も教員も慣れないオンライン授業であり、とまどいや苦労も多かったと思います。以降、クラブ活動やサークル活動ができない、アルバイトで収入を得ることも出来ない、地方から来ている人は、更に、帰省も憚られる、といった経験をしてきたと思います。心の平静を保つことも容易ではなかったはずですが、最近になって新型コロナウイルス感染症の5類への見直しが予定されるなど、ようやく出口が見え始めたように見えます。

大学生活の大部分を異常事態のもとで過ごさざるを得なかった不利益に対してネガティブな気持ちになっても不思議はありませんが、さまざまな不便や困難を乗り越え、卒業という目に見える形の成果を達成したことをプラス思考で捉えた方が得策だと思います。実際、新型

コロナの経験を含め、神奈川工科大学で過ごした月日は、これからの社会生活に必ず役に立つはずで

す。学科名にもあるとおり、私達の学科は、皆さんに情報メディアやコンテンツ制作についての理解を深め、その技術を修得することを目標の1つとしています。しかし、本当に重要なのは、知識や技術そのものではなく、与えられた、あるいは、自ら見つけた課題に対していかに取り組むか、という応用力・実践力を身につけることだと思います。さらに、その方法論もさることながら、自分が経験したことのない課題を前にしたとき、臆すること無く積極的に向かっていく逞しさと、精神的な強さを身につけることが重要だと思います。

大学生活で得た技術や知識の一部は、いずれ時代遅れになったり、忘れてしまうことになるかもしれませんが、しかし、学科の科目や卒業研究を通して身につけたこの力は、これから皆さんがどんな分野に進むにしても必ず役立ちはずです。新型コロナ禍の最中に学生時代を過ごした経験と共に、今後の糧としていただくことを願っています。皆さんのご活躍を学科教員一同楽しみにしています。



梶研究室 (総合キャラクタ&amp;エンタテインメントメディア研究室)



春日研究室 (画像処理・画像認識研究室)



佐藤研究室 (ビジュアルコンピューティング研究室)



西口研究室 (音響シミュレーション研究室)



西村研究室 (可視光と不可視光の画像処理・認識技術研究室)



服部研究室 (3DCG ゲーム VR 研究室)





**福本研究室**(映像メディア表現研究室)



**谷中研究室**(デジタル3Dシステム研究室)



**上田研究室**(応用音響工学研究室)



**黒川研究室**(サウンドコンテンツメディア研究室)



**酒井研究室**(モバイル・XRコンピューティング研究室)



**鈴木研究室**(インタラクティブデザイン研究室)



**中村研究室**(ゲームデザイン研究室)



**山内研究室**(画像処理応用・医用情報処理研究室)



**谷代研究室**(スポーツ情報科学研究室)



**師玉研究室**(文化コンテンツ研究室)





卒業生へのメッセージ

# 「未来を見据え」、「対象者にとっての最善」を追究し、学び続けるプロフェッショナルに!!



看護学科 学科長 教授 新実 絹代

5回生としてご卒業を迎えられた皆さま、おめでとうございます。

温かく成長を見守られた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さんは、4月から保健・医療施設に就職され、新たな生活をスタートされます。新たな門出に際し一言お伝えしたいと思います。

まず、4年間の看護学科の教育課程を無事修められ成し遂げたことに、「自信」と「勇気」をもってください。看護専門職としての知識・技術・態度を修得するための学習過程では、困難にも遭遇したかと思います。臨地実習では、生命と向き合う厳しさや闘病を支援する難しさに悩んだ場面も多々あったかと思います。反面、受け持たせて頂いた患者さん、臨床指導者、担当教員の指導から、看護のやりがいや気づきを頂き、前進できた経験もあったかと思います。看護研究、就職、国家試験への取り組みなど多くのハードルを越え皆さんは看護大学生としても人間的にも大きく成長されました。

今後、皆さんの活動舞台となる保健医療福祉界の動向は、超高齢化による疾病構造の変化や重症化、地域包括ケアシステムや働き方改革の推進など多くの課題が山積しています。COVID-19の対応に苦慮する状況もしばらく続きます。

今後の皆様に向けて、昨年の九月八日に、九十六歳で逝去された、イギリスのエリザベス女王の名言を、ご紹介したいと思います。エリザベス女王は、二十五歳で即位され、約七十年間、国王としての重責を果たされ、イギリス国民に尊敬、慕われた方でいらっしゃいます。

「勇敢な者は、上手いかなかったときに倒れて敗北を認めたりはしません。そんなときこそ、より良い未来のためにさらに力を振り絞るものです。」

4月から皆さんは、各施設の教育や支援を受けながら、多くの課題に取り組むことが求められます。常に「対象者にとっての最善」を基準に判断し、看護職としてのご自身の行動の根拠としてください。判断に困ったとき、目標を見失いそうになった時には、これからの未来を見据えて考え、学ぶこと、自己研鑽することで方向性が見出せます。その積み重ねこそが、プロフェッショナルになる歩みとなります。

本学は、皆さんにとって「母校」・「母港」です。いつでも立ち寄って頂きより成長された姿を見せてください。皆さんのご活躍と前途に幸多きことを教職員一同祈念しております。





## <看護研究Ⅱ>

### <地域・在宅看護学>

### <基礎看護学>



#### <指導教員>

鈴木 久美子 教授  
猪又 克子 准教授  
水谷 郷美 講師  
西 法子 助手  
黒澤 敦子 助手



#### <指導教員>

西田 幸典 教授  
泉山 由美子 講師  
沖田 亜希恵 助手

### <成人看護学>



#### <指導教員>

金子 直美 教授  
奈良 唯唯子 講師  
久松 桂子 講師  
川田 恵利子 助手  
高柳 朋恵 助手

### <老年看護学>



#### <指導教員>

金子 直美 教授  
高野 真由美 講師  
佐口 清美 助教  
佐藤 綾香 助手

### <小児看護学>



#### <指導教員>

濱邊 富美子 教授  
欠ノ下 郁子 講師  
三橋 礼子 助手

### <母性看護学>



#### <指導教員>

前山 直美 教授  
青木 真希子 講師  
松沢 祐子 助手

### <精神看護学>



#### <指導教員>

柴田 真紀 教授  
田代 誠 講師  
田岡 優美子 助手

### <公衆衛生看護学>



#### <指導教員>

入江 慎治 教授  
鈴木 大地 助教  
佐立 優香 助手

### <看護管理学>



#### <指導教員>

新実 絹代 教授  
辻田 幸子 助教

### <看護事務センター・就職事務>



#### <看護事務センター>

湯田平 咲弥香  
田中 恵子  
田中 愛

#### <就職事務>

阿部 美佐子

## 卒業生へのメッセージ

## 贈る言葉

管理栄養学科 学科長 教授 澤井 淳



4年生、院生の皆さん、卒業、修了おめでとう。

門出です。皆さんは、保護者の方や先生の庇護を離れ、自分の力で進んでいくことになります。

今日、大学を旅立つにあたって見える光景はどのようなものですか。この光景を入学のときに想像できたでしょうか。

多くの実験・実習、選択の余地のない必修だけでなく全くすき間のない時間割、それでも次々とする補講、徹底的に鍛えられた臨地実習、他にも〇〇演習、〇〇セミナー、〇〇プロジェクト・・・管理栄養士として実践的な教育をくり抜けてきました。さらに、入学時には考えてもいなかったコロナ禍が2年生から卒業まで、皆さんの行動を縛っていました。本当によく頑張ったと思います。皆さんの頑張りを私は誇りに思います。

皆さんは「栄養学」という学問を修めただけでなく、人としても大きく成長しました。管理栄養学科で、神奈川工科大学で、学んだことを武器に、皆さんは様々な分野へ旅立っていきますが、もう準備はできています。

最後にどこへ行こうと、どれだけAIが発達しようと、社会人として大切なことを3つ。

- ・いつも上機嫌でいること。不機嫌をまき散らかして、自分を甘やかさないこと。
- ・「忙しい」ということと、「充実」していることは違います。勘違いしないこと。
- ・辛いこともあります。「選ばれていない」時が「選ばれている」時です。

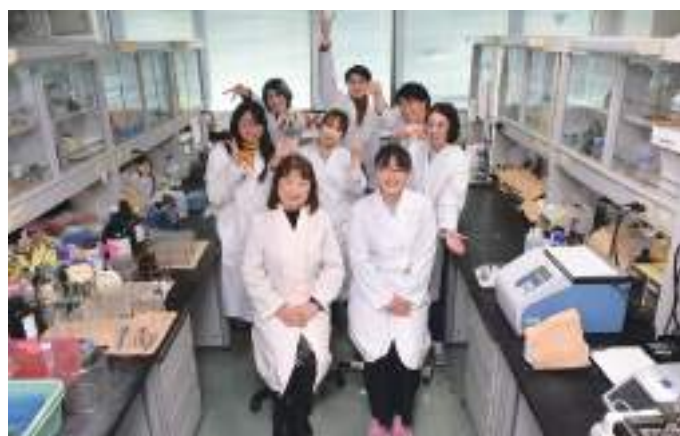
自信を持って進んで下さい。そして、また元気な顔（元気じゃなくてもいいですよ）を私たちに見せに、大学に遊びに来て下さい。今後の健闘そしてご活躍を祈ります。



饗場研究室 (栄養教育研究室)



菅野研究室 (実践臨床栄養学研究室)



清瀬研究室 (栄養生化学研究室)



澤井 淳研究室 (食品衛生学研究室)





花井研究室 (基礎栄養学研究室)



横山研究室 (病態栄養生化学研究室)



大澤研究室 (給食経営管理研究室)



澤井 明香研究室 (臨床栄養・健康科学研究室)



野村研究室 (調理学研究室)



原島研究室 (公衆栄養学研究室)



三宅研究室 (応用栄養学研究室)



宮本研究室 (食品学・薬理学的研究室)



卒業生へのメッセージ

# 臨床工学技士として医療に 貢献できるよう、努力を続けてください



臨床工学科 学科長 教授 松田 康広

臨床工学科卒業生みなさん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族のみなさまにも、心よりお喜び申し上げます

みなさんは本学科に入学され、臨床工学技士を目指して学修してきました。新型コロナウイルス感染症は、みなさんの学修に大きな影響を及ぼしました。2年生では対面授業が実施できず、オンライン授業と課題に明け暮れた毎日だったと思います。3年生でも対面授業は限られて、オンライン授業が続きました。4年生では、第6波から第7波の中での臨床実習、落ち着いて国家試験の勉強に取り組めるところに第8波が到来しました。行動制限はなくなったものの、不安な気持ちを抱えていたことと思います。一方でみなさんは、困難な状況の中でも日々の努力の大切さ、継続することの難しさ、達成したときの喜びを、身をもって体験することができました。どこかであきらめていたら、今日という日を迎えることはで

きませんでした。臨床工学科の卒業生として自信と誇りを持ち、社会に羽ばたいてください。

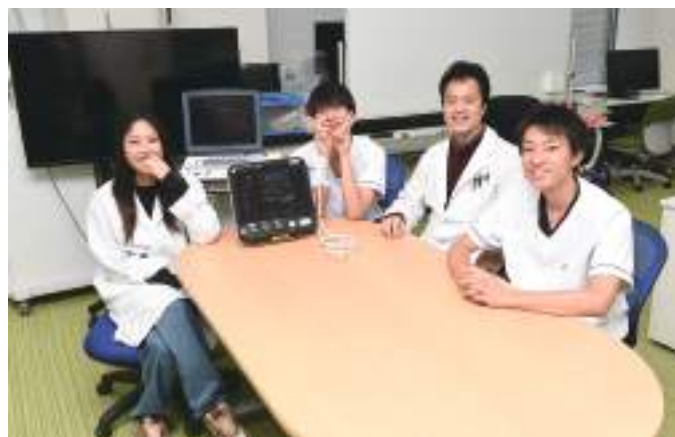
新型コロナウイルス感染症に限らず、医療における臨床工学技士への期待は高まっています。大学を卒業してからが本当の学修の始まりです。臨床工学技士としての責任感を持ち、医療に貢献できるよう努力を続けてください。

みなさんの学修は、一人の力だけでできたものではありません。長い間、みなさんを育て、支えていただいたご家族に感謝し、ぜひそれを言葉や行動で伝えてください。また、多くの同級生とも支え合ってきました。大学時代の友人はかけがえない友人です。大切にしてください。大学にも顔を見せに来てください。いつでもお待ちしております。

学科一同、みなさんの幸せとご活躍をお祈りしています。



河口研究室(情報システム電力変換工学研究室)



鈴木研究室(クリニカルイノベーションマネジメント(CIM)研究室)



深澤研究室(呼吸管理マネジメント研究室)



松田研究室(ライフサポート工学研究室)

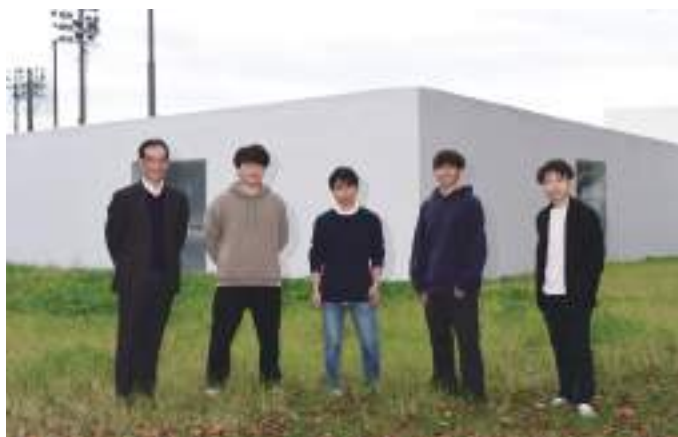




**山家研究室**(血液浄化技術研究室)



**渡邊研究室**(運動生理・健康科学研究室)



**大瀧研究室**(人間センシング研究室)



**酒井研究室**(人工心肺制御学研究室)



**西村研究室**(生体情報研究室)



**川崎研究室**(臨床工学医療情報研究室)





## 大学院電気電子工学専攻の学生2名が国際会議で受賞

2022年6月14日ハイブリッド形式で開催された、アメリカの静電気学会とIEEE IASの静電気部門が2年に1度開催する合同国際会議「2022 Joint Conference on Electrostatics」において、大学院工学研究科電気電子工学専攻1年の杉山 裕俊さんと、1年の貴島 勇希さんは、オンラインで参加し、発表を行いました。世界各国から博士課程の院生が多く参加していましたが、学生部門で杉山さんは堂々の1st place (1等)を受賞しました。

### ■電気電子工学専攻2年 杉山 裕俊さん

受賞名: Student Presentation Award, 1st place  
タイトル: Inactivation effect of MS2 using electrostatic precipitator with ultraviolet LED

### ■電気電子情報工学専攻1年 貴島 勇希さん

受賞名: Student Presentation Award, 3rd place  
タイトル: Simulation of relationship between collection efficiency and input power in a spike-to-plate type electrostatic precipitator



受賞した杉山さん



受賞した貴島さん

## 大学院機械システム工学専攻の学生が情報処理学会研究会で優秀論文賞を受賞

大学院機械システム工学専攻博士前期課程1年の矢田 悠人さん(指導教員: 脇田 敏裕教授)が、2022年5月に沖縄で開催された情報処理学会・電子情報通信学会合同研究会において「優秀論文賞」を受賞しました。

### ■発表題目

「歩行者と協調的な自律移動モビリティ-歩行者の顔向きに適応した経路生成-」  
矢田 悠人、道田 峻佑、小宮 聖司、脇田 敏裕(神奈川工科大学)



受賞した矢田さん

## 情報工学科学生が情報処理学会全国大会にて大会奨励賞を受賞

2022年3月4日にハイブリッド開催された情報処理学会第84回全国大会(愛媛大学城北キャンパス)において、情報工学科4年(納富研究室所属)(当時)の爲近 瑛太さんが「プログラミング演習におけるコーディングシーケンス共有システムの評価」というタイトルで発表を行った研究が、このたび大会奨励賞を受賞しました。

爲近さんは、現在、プライマル株式会社にて、ソフトウェア技術者としてシステム開発に従事されています。



受賞した爲近さん

## ロボット・メカトロニクス学科の学生が学生奨励賞を受賞

2022年7月29日～30日にオンライン形式で開催された情報処理学会第19回アクセシビリティ研究会でロボット・メカトロニクス学科4年の前土佐 勇仁さんが学生奨励賞を受賞しました。

■講演論文「無音検出と動作認識に基づく沈黙推定と発話応答(前土佐 勇仁、三枝 亮)」



受賞した前土佐さん

## ロボット・メカトロニクス専攻の大学院生が第8回日本透析機能評価研究会でBest Presentation Awardを受賞

2022年7月10日にオンラインで開催された「第8回日本透析機能評価研究会」で、大学院工学研究科博士前期課程ロボット・メカトロニクスシステム専攻2年の伊賀 捺海さん(臨床工学科・鈴木研究室所属)がBest Presentation Awardを受賞しました。

伊賀さんは、流体解析を基本として人工血管内の血流や、気管支における吸入薬の挙動などについて研究しており、「AVGエレファントランクの吻合近傍における血流解析」について発表しました。



鈴木教授(左)と伊賀さん(右)

## 大学院機械システム専攻の学生が国際会議でStudent Awardを受賞

大学院機械システム専攻博士前期課程1年の矢田 悠人さん(指導教員: 脇田 敏裕教授)が、2022年9月に開催された国際会議16th International Workshop on Informatics (IWIN2022)においてStudent Awardを受賞しました。

### ■発表題目

Pedestrian Cooperative Autonomous Mobility - Path Planning Adapted to Pedestrian Face Direction -  
Yuto Yada, Shunsuke Michita, Seiji Komiya, and Toshihiro Wakita



受賞した矢田さん

## 第46回静電気学会全国大会にて情報工学科の学生がエクセレントプレゼンテーション賞を受賞

第46回静電気学会全国大会にて大学院1年の菅野 竜矢さんが下記研究成果を発表し、「エクセレントプレゼンテーション賞」を受賞しました。

### ■受賞した発表テーマ

「二段式電気集塵装置における浮遊ウイルスの捕集」



受賞した菅野さん

## 情報工学科の学生がIEICE ComEX Top Downloaded Letter Awardを受賞

情報工学科4年の和田 拓海さんがComEX Top Downloaded Letter Awardを受賞しました。

### ■受賞したレターの題目と著者

“A method for generating graphs to derive maximum flow and its evaluation”  
Takumi Wada, Haruhisa Ichikawa, Shinji Yokogawa, Yoshito Tobe, Yuusuke Kawakita



受賞した和田さん

## 情報工学科の学生が情報科学技術フォーラムでFIT奨励賞を受賞

情報処理学会等が主催するFIT2022(第21回情報科学技術フォーラム)において、情報工学科4年(納富研究室所属)の齊藤 仁さんが「文章中に現れる特定の単語の打鍵情報による継続的な本人認証」というタイトルで研究発表を行い、FIT奨励賞を受賞しました。



受賞した齊藤さん



## 大学院情報工学専攻の学生が学生研究奨励賞を受賞

2022年10月14日に開催された電子情報通信学会インターネットアーキテクチャ研究会で、大学院情報工学専攻1年の伊藤 悠真さんが「インターネットアーキテクチャ研究会学生研究奨励賞」を受賞しました。

■講演名「エッジコンピューティングを用いた8K超高精細映像のトランスコード機能の実現」



## 硬式野球部の2選手がベストナイン賞を受賞

令和4年度神奈川大学野球秋季1部リーグ戦において、本学硬式野球部2名の選手が以下の賞を受賞しました。  
チーム成績は、4勝7負、勝ち点2（勝率0.364）5位でした。

### ■ベストナイン賞

三塁手 一藤木 啓太さん（情報ネットワーク・コミュニケーション学科 4年）  
外野手 長嶋 峻佑さん（ホームエレクトロニクス開発学科 3年）



長嶋さん(左)と一藤木さん(右)

## 電気電子工学専攻の学生が国際学会でYoung Scientist Awardを受賞

ハンガリー・ブダペストにて開催された16th International Conference on Electrostatic Precipitationで、大学院電気電子工学専攻2年（電気応用研究室）の久保田 航平さんが下記研究成果を口頭発表し、Young Scientist Awardを受賞しました。

### ■発表タイトル

「Combustion of Carbon Black collected on an ESP by Microwaves Irradiation using Slit Plate」



久保田 航平さん



## 臨床工学科の学生が研究発表会で表彰されました

「日本人間工学会関東支部第52回大会・第28回卒業研究発表会」において、本学臨床工学科4年の  
中島 颯汰さん（鈴木研究室所属）が研究発表を行い、表彰されました。

### ■研究タイトル

「N-back課題を用いた男性群と女性群における前頭前野の脳血流とテストステロンの関係」



鈴木教授(左)と中島さん(右)

## 第5回工大サミットに参加

2022年12月3日、「第5回工大サミット」が開催されました。

9つの私立工科大学（愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、東北工業大学、広島工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学（50音順））が参加し、本学からは学生自主防犯ボランティア団体「KAIT BULE（カイトブルー）」を代表して、情報ネットワーク・コミュニケーション学科4年の河上 真緒さんが、これまでの学内外での活動実績について報告発表しました。



発表する河上さん

## 情報メディア学科の4年生が日本音響学会2022年秋季研究発表会において学生優秀発表賞を受賞

情報メディア学科4年の久我 一輝さん（指導教員：上田 麻理准教授）が、日本音響学会秋季研究発表会において、学生優秀発表賞を受賞しました。

### ■研究テーマ

「FPSゲームにおける聴覚情報利用の重要性に関する検討その1」



受賞した久我さん

## ホームエレクトロニクス開発学科奥村研究室がとびお商店街のイベントに参加

2022年12月3日、4日厚木市 鷹尾団地内で行われた、イベントにホームエレクトロニクス開発学科奥村研究室の学生が参加しました。このイベントは団地の住民に交流の場を提供する活動を行っている、「一般社団法人コミュニティカフェ荻野」が中心となって実施されたイベントで、本学の学生は、奥村研究室の研究紹介やプロジェクションマッピングの投影を行いました。



## 情報工学科4年生がBMFSA2022年次大会にて学生奨励賞を受賞

バイオメディカル・ファジィ・システム学会（BMFSA）第35回（2022年）年次大会において、情報工学科4年（納富研究室所属）の齊藤 仁さんが「特定単語の打鍵タイミングと打鍵音を用いた継続的な本人認証手法の検討」というタイトルで研究発表を行い、学生奨励賞を受賞しました。



受賞した齊藤さん

## 第8回 アニメーター ドラフト会議 Contest 2022 で情報メディア学科4年2名が優秀者に選ばれました

第8回 アニメーター ドラフト会議 Contest 2022 で情報メディア学科4年 萩原 惟由さん（福本研究室）と三宮 丈二さん（服部研究室）が優秀者に選ばれました。

萩原さんはこのコンテストを経て、株式会社サブリメーションへ就職が決定し、CGスタッフ（アニメーター）として活躍が期待されています。また三宮さんも東映アニメーション株式会社への就職が決まり、CGアニメーターとして更に修行を重ねて行く予定です。



優秀者に選ばれた萩原さん



優秀者に選ばれた三宮さん

## 大学院応用化学・バイオサイエンス専攻の学生が第45回日本分子生物学会年会で優秀発表賞を受賞

第45回日本分子生物学会年会で大学院応用化学・バイオサイエンス専攻 博士後期課程1年の林 真央さん（飯田研究室）が MBSJ2022 Science Pitch Award（優秀発表賞）を受賞しました。

### ■発表タイトル

「耐熱性メチル基転移酵素M.ApeKIの特性評価：金属イオンの影響」



受賞した林さん

## 大学院電気電子工学専攻の2年生がシンポジウムでポスター賞を受賞

2022年11月17、18日に開催された2022 SAS Symposium(34th)（東海大学湘南キャンパス）の自然・環境エネルギー部門において大学院電気電子工学専攻2年生の遠藤 琢磨さんが論文発表を行い、ポスター賞を受賞しました。

論文題目「燃料電池の出力低下抑制のための制御方式の検討」



受賞した遠藤さん



# Office Information

オフィスインフォメーション

## 経営管理本部

### 管財課

#### 神奈川県主催のフォーラムにて本学学生サークルが取組事例を発表

1月31日に開催されました、神奈川県主催「ワンウェイプラ削減オンラインフォーラム」にて、プラごみ削減の関係事例を、神奈川県様・㈱力ネカ様・㈱ファミリーマート様・富士屋ホテル様が発表された後、本学学生ECO推進チーム「みどり」の学生6名が本学におけるECO活動の取組とプラごみ削減計画について発表しました。

市民の皆様から、「学生の幅広い活動を知り、市民と大学との協働を実施したい」というご意見もいただきました。



## 学生支援本部

### 教務課

#### 2023年度授業運営方針

2023年度については、一部科目を除き、全面対面式授業で実施いたします。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、方針・予定を変更する場合があります。その際は、本学ホームページおよび保護者ポータルサイトにてご案内いたします。

また、入構時に実施しておりました検温および入構時チェック制度は廃止し、自主検温に変更します。登校にあたっては、各自で体調管理をお願いいたします。

#### 2023年度学年暦

|                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 入学式                | 4月1日(土)          |
| 新1年生オリエンテーション      | 4月1日(土)～4月8日(土)  |
| 新2年生～新4年生オリエンテーション | 3月28日(火)～4月8日(土) |
| 前期授業期間(試験・補講期間含む)  | 4月10日(月)～8月7日(月) |
| 前期追試期間             | 9月1日(金)～9月5日(火)  |

|                                                          |                      |
|----------------------------------------------------------|----------------------|
| 夏期休業期間                                                   | 8月8日(火)～9月14日(木)     |
| 後期オリエンテーション                                              | 9月15日(金)             |
| 後期授業期間(試験・補講期間含む)                                        | 9月19日(火)～翌年1月27日(土)  |
| 幾徳祭(学園祭)                                                 | 11月4日(土)～11月5日(日)    |
| 後期追試期間                                                   | 2024年2月3日(土)～2月7日(水) |
| 冬期休業期間                                                   | 2月8日(木)～3月下旬(予定)     |
| 学位授与式(卒業式)                                               | 3月20日(水・祝)           |
| ※祝日の授業開講も予定しております。詳細は本学ホームページの「2023年度年間スケジュール」にてご確認ください。 |                      |

#### 保護者・保証人向けWEB成績閲覧環境について

2022年度より「保護者ポータルサイト」内で、学業成績表、時間割、対面式授業出席状況、学生掲示板情報などを閲覧いただけます。2022年度後期の学業成績表につきましても3月上旬より公開しております。この機会に「保護者ポータルサイト」をご活用ください。

※学業成績表の個別送付はいたしておりません。ポータルサイトの「専用パスワード」を紛失された場合には、教務課あてにご連絡ください。

教務課 E-mail : kyoumu@kait.jp

※新型コロナウイルス感染症の状況により方針・予定を変更する場合があります。

詳しいスケジュールは、本学ホームページおよびKAIT Walkerをご確認いただきますようお願いいたします。

## 教職教育センター

#### 2023年4月～7月のスケジュール

|    |                                                          |
|----|----------------------------------------------------------|
| 4月 | ・教職課程ガイダンス<br>・教育実習ガイダンス<br>・教育実習予約・事前指導<br>・第3回全国模試     |
| 5月 | ・前期対策講座開始<br>・教育実習開始<br>・介護等体験ガイダンス<br>・第3回校内模試          |
| 6月 | ・第4回校内模試<br>・介護等体験実習開始<br>・教員採用試験直前対策講座<br>・スターティングガイダンス |
| 7月 | ・教員採用試験(一次)<br>・一次合格発表<br>・二次試験対策                        |

## 学生課

#### 父母説明会について

大学との理解を深め合う機会としております本会ですが、オンライン(オンデマンド形式)にて開催(説明動画配信)の準備を進めております。開催(説明動画配信)につきましては、大学ホームページ等にてご案内いたします。

## キャリア就職課

#### 4月以降の就職活動支援

##### ■2024年卒生(学部4年生、院2年生)対象

2024年卒対象に、4月以降も個別の企業説明会を学内対面およびオンラインで実施する予定です。参加企業情報などの実施スケジュールについては、進路希望登録時(求職登録: KAIT Careerから)のメールアドレスに配信しますので、是非登録確認をしてください。

##### ■2025年卒生(学部3年生、院1年生)対象

4月より、2025年卒(学部新3年生、院新1年生)を対象に就活セミナーを実施します。前期就活セミナーは対面およびオンライン形式にて開催します。その他、特別編の講座についても企画しております。是非参加してください。(医療系学科(看護学科、臨床工学科)については別途実施)

KAIT Career(本学学生の為の就職情報サイト)からの情報収集を積極的に行い、キャリア就職課からの様々な告知のメール配信を見逃さないようにしましょう。

## 看護生涯学習センター

#### 2022年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了式

看護師経験5年以上の看護職の継続教育機関として、2019年度より、認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)を開始し4年目となります。1月20日に第4期生となる受講者37名の修了式を挙行了しました。昨年10月14日から約3か月の教育課程は、新型コロナウイルス感染対策を厳重に行い、今年度は全課程を対面研修で無事に修了しました。

1月20日の修了式は、3か月間の成果発表の後に開催され、小宮学長より各自に修了証書が授与されました。小宮学長、鈴木理事より祝辞を頂き、新実生涯学習センター長(看護学科長)より式辞が述べられました。看護学科教授会を代表し柴田教授から花束贈呈がありました。修了者を代表し、国立横浜医療センター看護部長の小川洋さんから謝辞が述べられました。

仕事と両立し週末2日間の研修は、コロナ感染対応を初め多くの課題に苦慮している看護管理者の動機づけになり、研修期間中の成長や変化は目覚ましいものでした。

本研修は、例年看護学科の実習病院からも多く受講頂き、看護学科の臨地実習、授業を支える力となっており、今後更にネットワークが広がることが期待されます。

4年間で146名が修了されましたが、看護管理者として、リーダーナースとしての今後ますますのご活躍が期待されます。

2023年度は、6月から新規事業として、認定看護管理者教育課程セカンドレベルを開催します。ファーストレベルは、11月からの開講予定です。



## 第44回後援会総会報告

今年度の後援会総会につきましては、12月に郵送にてご案内の通り、書面総会形式で実施いたしましたが、議事はご承認いただきましたので誌面を借りまして報告させていただきます。

ご理解を賜りまして誠にありがとうございます。

新年度も新型コロナウイルスの影響を受ける学園生活とならざるを得ませんが、「Withコロナ」の学生生活支援のため、引き続き、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

### 2021年度決算報告書 (2021年4月1日より2022年3月31日まで)

神奈川工科大学後援会  
(単位:円)

#### 収入の部

| 科 目    | 予算            | 3月末実績         |
|--------|---------------|---------------|
| 一般収入   | [ 75,015,000] | [ 75,360,000] |
| 入会金    | ( 3,465,000)  | ( 3,465,000)  |
| 会 費    | ( 71,550,000) | ( 71,895,000) |
| 寄付金収入  | [ 0]          | [ 0]          |
| 受取利息収入 | [ 571]        | [ 807]        |
| 雑収入    | [ 0]          | [ 111,769]    |
| 収入合計   | 75,015,571    | 75,472,576    |
| 前期繰越金  | [ 65,585,406] | [ 65,585,405] |
| 収入の部合計 | 140,600,977   | 141,057,981   |

#### 支出の部

| 科 目    | 予算             | 3月末実績         |
|--------|----------------|---------------|
| 総 務 部  | [ 7,120,000]   | [ 2,820,639]  |
| 教 務 部  | [ 20,900,000]  | [ 4,766,512]  |
| 厚 生 部  | [ 108,050,000] | [ 61,799,010] |
| 予 備 費  | [ 4,530,977]   | [ 49,500]     |
| 支出合計   | 140,600,977    | 69,435,661    |
| 次期繰越金  | [ 0]           | [ 71,622,320] |
| 前期繰越金  | ( 0)           | ( 65,585,405) |
| 当期剰余金  | ( 0)           | ( 6,036,915)  |
| 支出の部合計 | 140,600,977    | 141,057,981   |

### 2023年度予算 (2023年4月1日より2024年3月31日まで)

神奈川工科大学後援会  
(単位:円)

#### 収入の部

| 科 目    | 2022年度予算      | 2023年度予算案     |
|--------|---------------|---------------|
| 一般収入   | [ 75,015,000] | [ 75,015,000] |
| 入会金    | ( 3,465,000)  | ( 3,465,000)  |
| 会 費    | ( 71,550,000) | ( 71,550,000) |
| 寄付金収入  | [ 0]          | [ 0]          |
| 受取利息収入 | [ 500]        | [ 500]        |
| 前期繰越金  | [ 45,000,000] | [ 71,622,320] |
| 収入の部合計 | 120,015,500   | 146,637,820   |

#### 支出の部

| 科 目    | 2022年度予算      | 2023年度予算案      |
|--------|---------------|----------------|
| 総 務 部  | [ 7,120,000]  | [ 7,120,000]   |
| 教 務 部  | [ 22,900,000] | [ 32,900,000]  |
| 厚 生 部  | [ 88,495,500] | [ 104,800,000] |
| 予 備 費  | [ 1,500,000]  | [ 1,817,820]   |
| 支出の部合計 | 120,015,500   | 146,637,820    |

## 2023年度神奈川工科大学後援会役員

(任期:2023年4月1日～2024年3月31日)

| 役 職 | 氏 名     | 学 科             |
|-----|---------|-----------------|
| 会 長 | 松 尾 留美子 | 情報メディア学科        |
| 副会長 | 森 年 展 子 | 情報工学科           |
| 監 事 | 伊 藤 順 子 | ホームエレクトロニクス開発学科 |
| 理 事 | 中 島 隆 征 | 応用化学科           |
| 理 事 | 木 村 慎 吾 | 情報工学科           |
| 理 事 | 川 村 昌 寛 | 情報メディア学科        |
| 理 事 | 佐々木 美 紀 | 応用バイオ科学科        |

## 神奈川工科大学学内役員

| 役 職  |         |                 |
|------|---------|-----------------|
| 顧 問  | 小 宮 一 三 | 学長              |
| //   | 谷 村 浩 二 | 専務理事            |
| 常任理事 | 塩 川 茂 樹 | 学生部長            |
| //   | 中 込 寛   | 常務理事・キャリア就職担当部長 |
| //   | 鈴 木 隆   | 理事・教務担当部長       |
| //   | 星 野 潤   | 財務担当部長          |
| //   | 久保田 昌 彦 | 理事・学生担当部長       |

# ドイツ連邦教育研究省(BMBF)局長が本学SIP自動運転 DIVPプロジェクトを訪問 Visit to KAIT by Prof. Dr. Ina Schieferdecker, Director General, BMBF (The German Federal Ministry of Education and Research)

2022年10月27日(木) ドイツ連邦教育研究省(BMBF) 局長のProf. Dr. Ina Schieferdecker氏、ドイツ大使館のDr. Lothar Mennicken氏がDIVP (Driving Intelligence Validation Platform) プロジェクト、及び、日独連携のVIVID (German-Japan joint virtual validation methodology for intelligent driving systems) プロジェクトを視察するため、本学KAITを訪問されました。VIVIDプロジェクトは、(独) BMBFが支援するVIVALDIプロジェクトと(日) 内閣府SIP自動運転が支援するDIVPプロジェクトによる連携研究プロジェクトです。自動運転の安全性評価を共通の目的として、センサから観たリアルな仮想空間を生成し、正にデジタルツ윈のシミュレーション環境で、自動運転の開発/評価の加速に貢献しようとするものです。

この度、VIVIDプロジェクトはBMBFの資金援助を受けた日独連携研究開発協力プロジェクトの中で、最も成功したプロジェクトの一つに選ばれ、日本側リーダーの本学KAITがProf. Dr. Ina Schieferdecker氏の訪問先に至ったとのことでした。

まず初めに、DIVPプロジェクトリーダーである本学の井上 秀雄特任教授から、DIVPシミュレーション、VIVIDプロジェクトの説明が行われ、その後実際のセンサの実験車両やリアルなシミュレーションの様子を見学されました。Prof. Dr. Ina Schieferdecker氏は、プロジェクトメンバーからの説明にも熱心に耳を傾けられ、総じて、DIVPプロジェクト、そして、日独連携VIVIDプロジェクトの成果を、良くご理解頂きました。

今後も、自動運転車の社会実装や安全基準などの標準化のために、この日独連携VIVIDプロジェクトの成果が活用されていくものと期待されています。

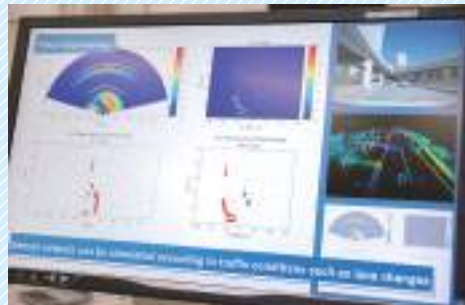
(文責:KAIT先進自動車研究所 所長・特任教授 井上 秀雄)



前席中央左:Prof. Dr. Ina Schieferdecker氏



KAIT E6自動車工学校にて



KAIT E6自動車工学校にて



## 神奈川工科大学 読書コンテスト2022

神奈川工科大学「読書コンテスト」は、学生の主体的な学びへの励まし・支援を目的に、読書感想文の文章作成、パワーポイントを使ったプレゼンテーションの表現力で審査を行うコンテストです。

9年目となる今年度も、読書感想文による一次審査で評価された選出者によって、収録動画によるプレゼンテーション(最終審査)が行われました。最終審査となった発表会は、10月17日から10月21日まで図書館Webサイトからオンライン形式で公開され、審査会にて学長賞、図書館長賞、紀伊國屋書店賞ほか、各賞が決定しました。また、入賞を果たした学生には、実行委員会より記念のトロフィー、盾が贈呈されました。

### 〈審査結果〉

#### ■学長賞

金谷 整さん(自動車システム開発工学科 3年)

#### ■図書館長賞

柳瀬 航太さん(応用バイオ科学科 4年)

#### ■紀伊國屋書店賞

上村 花那さん(応用化学・バイオサイエンス専攻 1年)

#### ■審査員特別賞

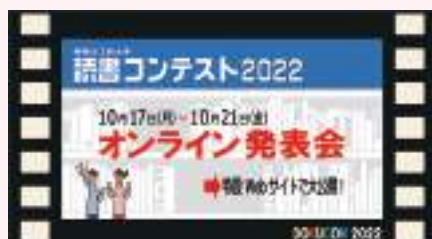
金子 恭也(情報工学科 4年)

#### ■優秀賞

刈谷 真地さん(応用化学科 2年)

白川 未悠さん(情報メディア学科 4年)

浅野目 悠貴さん(情報メディア学科 3年)



最終審査風景



入賞者がセレクトした本と贈呈トロフィー等